

科目名	地域作業療法学	担当教員	浅野 友佳子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	----------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32ABE	②、③、④					

科目概要	超高齢社会の進行に伴って、リハビリテーションサービスを必要とする対象者が増加している。対象者が住みなれた地域で生活できるように支援するためには、地域でのリハビリテーションサービスの充実が必要である。そこで本科目では、自宅で生活するために、介護保険法や障害者総合支援法などの制度を活用した、医療だけではなく保健、福祉における作業療法の支援方法について学び、幅広い視野をもって社会に奉仕する作業療法士の仕事に興味・関心を持つ。
学習目標	① 地域リハビリテーションにおける作業療法の理念と役割について理解する。 ② 地域保健・医療・福祉制度について理解する。 ③ 様々な地域リハビリテーションの実践について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス 地域作業療法の 理念と役割(1)	地域社会とは 地域で生活すること	地域社会とそこで生活する人々について理解する。	
2	地域作業療法の 理念と役割(2)	地域における作業療法対象者 地域での作業療法	地域における各ライフステージの作業療法対象者とその支援について理解する。	
3	地域作業療法の 理念と役割(3)	地域作業療法の理念 地域作業療法の役割	地域作業療法の理念について理解する。 地域における作業療法士の役割（他職種との協業）について理解する。	
4	地域作業療法の 評価	地域作業療法の評価の視点と具体的な評価手法	地域作業療法に必要な評価の視点と具体的な評価手法を理解する。	
5	地域保健・医療・ 福祉制度と作業 療法(1)	発達障害児・者に対する制度と作業療法	障害児・者に対する制度を理解し、作業療法士の役割を理解する。	
6	地域リハビリテ ーションによる 支援と実践(1)	発達障害児・者に対する地域リハビリテーションの支援と実践	発達障害児・者に対する地域リハビリテーションの支援と実践を理解する。	
7	地域保健・医療・ 福祉制度と作業 療法(2)	障害者に対する制度と作業療法	障害者に対する制度を理解し、作業療法士の役割を理解する。	
8	地域リハビリテ ーションによる 支援と実践(2)	障害者に対する地域リハビリテーションの支援と実践	障害者に対する地域リハビリテーションの支援と実践を理解する。	
9	地域保健・医療・ 福祉制度と作業 療法(3)	介護保険制度の背景と概念 介護保険サービスと作業療法	介護保険創設の背景・介護保険の概要を理解する。介護保険の流れ・介護保険サービスについて理解する。	
10	地域リハビリテ ーションによる 支援と実践(3)	介護保険対象者に対する地域リハビリテーションの支援と実践	介護保険対象者に対する地域リハビリテーションの支援と実践を理解する。	
11	地域保健・医療・ 福祉制度と作業 療法(4)	日常生活総合支援事業（地域包括ケアシステム）と作業療法	地域包括ケアシステムを理解し、作業療法士の役割を理解する。	
12	地域リハビリテ ーションによる 支援と実践(4)	自助グループ・町内会などにおける実践	自助グループや町内会などにおける実践的な作業療法について理解する。	
13	地域における作 業療法の実践(1)	訪問リハビリテーションにおけるまちづくりの実践	訪問リハビリテーションにおけるまちづくりの実践について理解する。	

14	地域における作業療法の実践(2)	まちつくりの視点での地域リハビリテーション	グループワークにて実際のある都市をモデルとした地域リハビリテーションについて理解する。	
15	地域における作業療法の実践(3)	まちつくりの視点での地域リハビリテーション	グループワークにて実際のある都市をモデルとした地域リハビリテーションについて共通認識として理解する。	
<b>評価方法</b>		筆記試験(100%)		
<b>課題に対するフィードバック</b>		各講義の際に、簡単なグループワークにて全体の課題の理解度を確認し、フィードバックを行う。講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
<b>教科図書</b>		特に指定しない(配布資料を使用する)。		
<b>参考図書</b>		日本作業療法士協会・監『作業療法学全書 改訂第3版 第13巻 地域作業療法学』協同医書出版社、2009年 長崎重信・監『作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法学』メジカルビュー社、2016年 矢谷令子・監『標準作業療法学専門分野 地域作業療法学 第2版』協同医書出版社、2012年		
<b>学習の準備</b>		1. (予習) 毎回グループワークも行うため、対象疾患や対象時期の作業治療学および評価学、関係法規等を他の講義の内容を復習すること (90分) 2. (復習) 講義で理解が不十分であった場所を明確にし、資料などをもとに確認し、不十分な点は次回の講義で質問できるように準備すること (90分)		
<b>オフィスアワー</b>		講義の前後とする。		
<b>担当教員欄に※印を附した教員の実務経験</b>				